

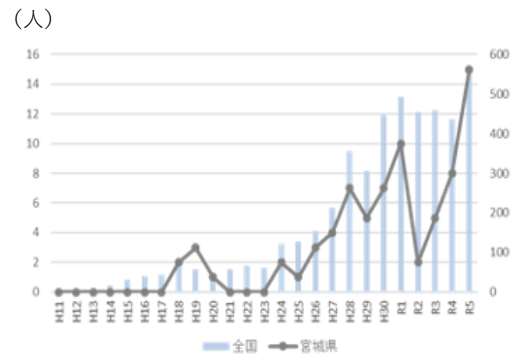
宮城県内のE型肝炎ウイルス侵淫状況

宮城県保健環境センター微生物部

研究期間：令和7年度～令和8年度

背景

E型肝炎はウイルス性肝炎の一種である。E型肝炎ウイルスに汚染された水や食品などの喫食により感染するが、感染から発症まで2-8週間かかるため原因究明が困難である。平成11年以降、E型肝炎の患者は増加傾向にあり、原因究明が課題である。国内の推定感染経路の一つとして加熱不十分のブタ肉及びブタレバーの喫食によるものが報告されている。



平成11年から令和5年のE型肝炎患者発生数

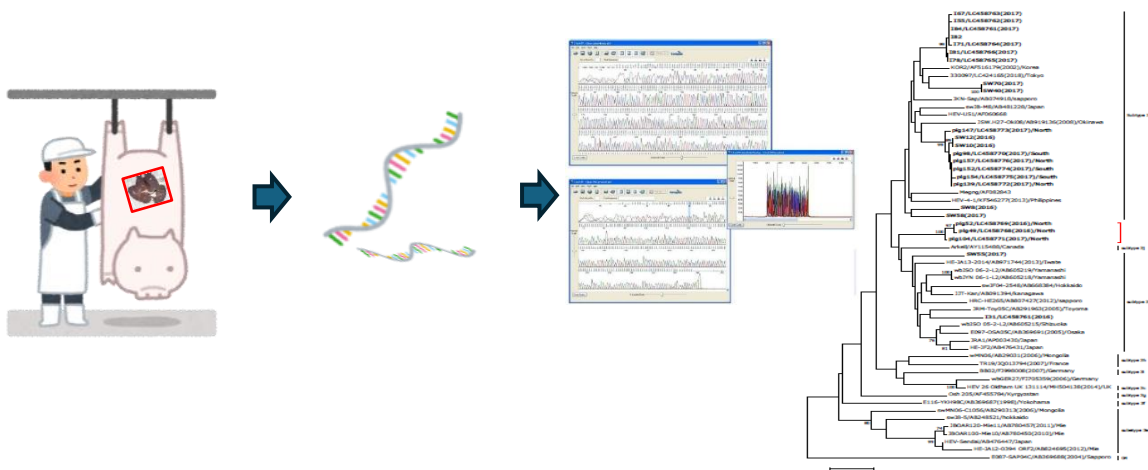
目的

- ・ 県内のブタがどのくらいE型肝炎ウイルスを保有しているか把握する
- ・ ブタ保有のE型肝炎ウイルスとヒトが感染したE型肝炎ウイルスの関連を見出す



食中毒・感染症発生予防に対する知識の普及・啓発

内容



ブタ肝臓（レバー）など 対象遺伝子の検出

遺伝子解析・疫学分析